



～東の丘に芳しく香れ～

東芳っ子供り



令和4年 6月24日

東芳小学校だより

第12号

文責：校長 山際裕之

民間エキスパート活用事業による水泳授業

1・2年生が、民間エキスパート活用事業により、日本水泳振興会（郡山信金開成山プール）から講師として鈴木和彦様を派遣していただき、水泳の授業を行いました。昨年度は上学年へのご指導をいただきましたが今年度は1・2年生のプールへの抵抗をなくすため、初期段階の水慣れをご指導いただいています。子どもたちは、楽しい活動を通してどんどん水に慣れてきました。この授業は3回予定されており、条件不良により延期した最終回は、6月27日（月）に実施予定です。

本校では、子どもたちの体験活動を重視し、深い学びを目指す視点から、地域の方々や各分野での専門的な知識・技能をもつ外部指導者による授業や学びの場を積極的に設定しています。



おめでとう！ 「私の家族作文コンクール」で多数入賞

第49回私の家族作文コンクールで市内10名の児童が特選に選ばれ、6月22日(水)に表彰式が行われました。本校からは、5年生の古澤瑠華さん、遠藤詩乃さんが特選に選ばれ表彰式に出席しました。さらに、古澤さんは表彰式において代表で自分の作品を朗読する大役を果たしました。おめでとうございます。どちらの作品も家族を大切に思う気持ちがよく伝わるすばらしいものだと思います。作文は、6月19日付福島民友新聞に全文掲載されました。

また、6年生の佐々木美結さん、5年生の阿部愛莉さん、阿部朱莉さん、遠藤結衣さん、高橋百花さん、武田ゆらさん、中山華愛さんの7名が入選に選ばれました。すばらしいことです。7名の作品も、今後順次福島民友新聞に全文掲載されます。

子どもたちには、今後も家族を愛する気持ちを大切にしてほしいと思います。そして学校では、自分の考えや気持ちを言葉で表現する活動を今後も大切にしていきます。

「初めての田植え」
東芳小5年 遠藤 詩乃さん

わたしは初めて、祖父の田んぼで、家族と田植えをしました。と足とくを洗って、顔とくを洗って、毛はタオルで拭きました。すくくとしていました。父は上手に土を平らにして、祖父は、機械で田んぼに苗を植えました。その後、わたしは祖母に、それを教えてもらいました。祖父が、機械で田植えをしていない間、わたしは、機械が入らない所に、手で苗を植えています。苗が無くなった箱は、母がかなたので、いらないと捨てていました。

苗を植え終わって、どうも変な感じがして、父や母がそばにいた時、わたしの足がぬげなくなり、足がすくなくなり、さびさびと、出まわ動くと、さびさびと、足がすくなくなり、あせって無理や、みんなでも助け合っていた、り動いたとき、ドボンとたおれ、周りをを見て動けなくなりました。口の中にとろろ水が入ってしまいました。かみも手も足も、ドロドロになってしまいました。わたしは、家族は、自分と同じくらい大切に、いつも笑って、元気でいてほしいと思います。

「弟が生まれた日」
東芳小5年 古沢 瑠華さん

わたしが一番思い出に残った出来事は、弟が生まれた時です。保育園の時、ずっと弟が妹がほしいと思っていました。だから、赤ちゃんがきたと聞いて、とてもうれしかったです。赤ちゃんが生まれた後の事を考えて、人形などミルクをあける練習やおむつをかき練習を、家へ行く、初めて弟と会う事ができ、寂しいなと思いました。体調が悪い中、でも、仕事と家事をする母を見て、にんしんや出産は楽なんだなと感じました。

母のおなか、大きくなり、その性別がわかるかもしれない。父は仕事の休みをとって、三人で検診へ行きました。初めて見ました。わたしは少しドキドキしました。お医者さんが母のおなかに機械をあてながら、「男の子ですね。」と言った時、「弟なんだ。」と、とてもうれしくなりました。家族みんなが、笑顔になった一日で母は、いとおしゃいでの出産した。

私の一番の思い出は、弟が元気に生まれてきてくれた事です。家族みんなが、笑顔になった一日で母は、いとおしゃいでの出産した。

熱中症の予防を最優先していきます！

気温が上昇する夏季はマスク着用による熱中症へのリスクが懸念されます。すでにメールでもお知らせしていますが、体育の時間はマスクを外して運動するよう指導しています。また、登下校時もマスク着用の必要がないことが示されています。ご家庭でも気温が高い日はマスクを外すよう話していただければ幸いです。